

男女共同参画社会

を考える情報誌 ききょうフォーラム通信



地震や風水害など災害の発生が想定される中で、性別により災害から受ける影響の違いなどに十分に配慮した対応を行うため、女性の防災分野への参画が推進されています。地域の中で防災に取り組む

女性消防団員の活動 について、**吉田 哉子** 伊勢原市消防団本部・部長にお話を伺いました。

Q. 普段どのような活動をしていますか。

A. 伊勢原市消防団には女性消防団員が 19 人おり、啓発活動や応急救護、ひとり暮らし高齢者宅の訪問など、火災予防・広報活動を行っています。

啓発活動

- 火災予防週間(3/1~7)の周知
- 消火器の使い方・消火訓練の実演
啓発効果を高めるため、多くの人が集まる場所に出向いています。
年間で 30 くらいの行事があるので、それぞれ団員を割り振って参加しています。

ひとり暮らし 高齢者宅の訪問

- 住宅用火災警報器や火災発生危険箇所の有無を点検
- いせはら救急安心キット*の有無の確認
*自宅で救急車を呼び、医療行為を受ける際、必要となる個人の情報を記入した医療情報シートなどを筒状の専用容器に入れ、冷蔵庫に保管しておくことで、万一の救急時に備えるもの

応急救護

- 胸骨圧迫や AED の使い方の講習会
女性消防団員と消防職員が講師となる市民向けの講習会を年間 10 回程度開催しています。



Q. 発災時にどのような活動をしていますか。

A. 今のところ、発災時に出動はしていません。自治体によっては、巡回や避難所の設営など、後方支援で出動しているところもあるため、個人的には今後対応するようにしていくと思っています。

Q. 女性目線での防災・減災対策を進めるためには、どのようなことが必要だと思いますか。

A. 2023年2月に市民文化会館で行われた防災講演会には、女性消防団員 19 人のうち、14 人が参加しました。その後、定例会で議題として取り上げ、意見交換をしたところ、右のような意見が出ました。

女性消防団員は他の消防団員と違い、居住地が点在しています。災害時には団員の安否も分からなくなるため、緊急時の避難先や情報共有の方法など、何かあったときの対応方法の整理に取り組みたいと考えています。

まずは自分の身を守ることが大切。転倒防止バーの設置やローリングストックが必要。

消防団の制服を着ると、助けられる側から助ける側に立場が変わるため、制服を着る覚悟が必要。

知識を養い、災害時にすべきことの意識付けが必要。



Q. 周囲からのサポートはありますか。

A. 定例会は月1回で子連れでも参加できます。女性だけの団体だからこそ理解があるのかもしれませんが。消防職員のサポートもあります。現在、介護をしている団員もいますが、円滑に協力することができています。

Q. 「女性消防団員として活動してみたい」という人は、どうすればよいですか。

A. 興味のある方は伊勢原市消防総務課(電話:0463-95-9143)へお問い合わせください。

裏面に続く

いせはら男女共同参画フォーラムを開催しました

アートの世界から考える わたしたちの身近なジェンダー問題

講師 ^{たけだ けいこ} 竹田 恵子 さん(東京女子大学准教授)

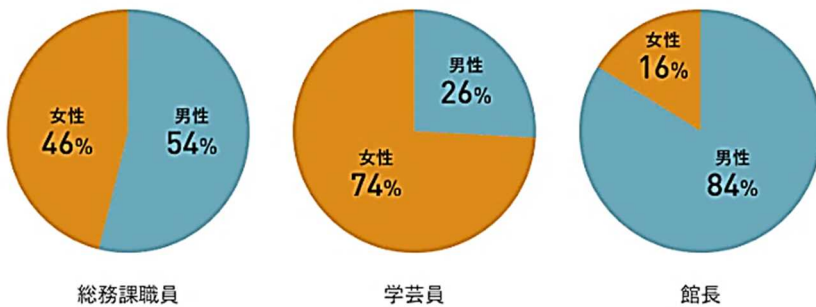
2022年12月20日(火) 伊勢原市民文化会館大ホール

芸術家の世界にも昔から男女の扱いに差があり、今に至るまで「ジェンダー規範」という男性だったらこうすべきだ、女性だったらこうすべきじゃないというような、見えないルールのようなものがありました。これにより、女性には評価されにくい状況にあったと考えられています。

皆さんも考えてみてください。モネ、レオナルド・ダ・ビンチ、ゴッホなど、有名な芸術家は男性が多いですね。女性というのは才能がないから芸術家になれなかったのかというと、そうではなく、美術教育制度や社会規範があり、それによって女性芸術家が生まれにくい仕組みがあったようです。



全国の美術館における館長・職員の男女比



総務課職員

学芸員

館長

竹田恵子(2019)「統計データから見る日本美術界のジェンダー・アンバランス」『美術手帖ウェブ版』より引用。
全国美術館 55 館(国公立、私立、独立行政法人含む)を対象に調査。

現代においても、2019年時点で、美術館の館長の男女比は、男性が84%、女性が16%と、男性が多いのが現状です。学芸員では、女性が74%、男性が26%。女性が多い職場であっても、男性が上司にいるということです。アートの世界は男女平等とはいえないのではないのでしょうか。

先進国の中でも、男女差別がいまだに多いとされる日本。未来に向けて皆さんの考えや思いで、私たちが住みやすい環境を作り、ジェンダー問題がなくなる未来を創造できれば良いですね。

いせはら男女共同参画フォーラムの講演動画を再公開します

右の2次元コードまたは市ホームページ「オンラインイベント」からご覧いただけます。配信は2024年3月31日(日)までです。

好きな時間にご視聴ください(手話通訳、字幕付き、事前申込不要)。



市ホームページ

編集

伊勢原市男女共同参画推進委員会編集部会

発行

伊勢原市人権・広聴相談課
人権・男女共同参画推進係
伊勢原市田中 348
電話:0463-94-4716(直通)
FAX:0463-92-9009
E-mail:jinken@isehara-city.jp

【編集後記】

東日本大震災発生から12年がたち、災害に対する危機感が薄れつつあります。そんな折、トルコ・シリア地震発生の際は緊張を呼び起こしました。

身近に起こり得る災害を想定し、市民の安心・安全を守るため活動する女性消防団に敬意を表すると共に、個々の防災意識をより一層高めたいと思います。